

系 統	2液型エポキシ樹脂系注入接着剤
特 長	1) 粘度が低く、微細なひび割れへの注入作業性に優れる。 2) コンクリートに対する接着性に優れる。 3) ひび割れの動きに追従する柔軟性を有する。(100%の伸び能力を有する)
用 途	1) コンクリート構造物のひび割れ注入補修用 (特にひび割れの進行が見込まれる場合、また温度の影響でひび割れ幅が伸縮している場合に適する) 2) 旧建設省総合技術開発プロジェクト コンクリートの耐久性向上技術の開発 平成元年5月 アルカリ骨材反応被害構造物(土木)の補修・補強指針(案) 注入材の品質規格 3種適合品
配 合 比	主 剤 : 硬化剤 = 7 : 3 (重量比)
荷 姿	5kg セット (主剤/3.50kg、硬化剤/1.50kg) 10kg セット (主剤/7.00kg、硬化剤/3.00kg)
外 観 性 状	主 剤…無色透明液状 硬化剤…淡黄色透明液状 混合物…淡黄色透明液状

可使時間の目安

タ イ プ	冬用 (W)		夏用 (S)	
温 度 [°C]	5	15	20	30
可 使 時 間 [分]	120	40	60	30

比 重	1.10±0.05 (硬化物)
貯蔵保証期間	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消防法による区分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類
毒物及び劇物取締法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当する
使用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) BLインジェクターまたはDDインジェクターを用いて、ひび割れに注入する。
使用上の注意	1) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 2) 可使時間内に作業を終了する。 3) シンナーや水を混入して使用しない。

 注 意

- | |
|--|
| 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。 |
|--|